

ウイルス分離及び抗原検出情報 2016年

ウイルス分離(仙台市内医療機関)

	第8週(中間) 2月22日～	第9週(中間) 2月29日～	第10週(中間) 3月7日～	第11週(中間) 3月14日～
インフルエンザウイルスA(H1)pdm09	11	6	0	0
A(H3)型	0	0	0	0
B型(山形系統)	1	8	5	0
B型(ビクトリア系統)	1	5	5	0
C型	1	0	3	0
解析中	0	2	1	13
RSウイルス	0	0	1	0
ヒトメタニューモウイルス	0	0	2	0
ムンプスウイルス	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0
エンテロウイルス	0	0	0	0
ライノウイルス	1	1	1	0
単純ヘルペスウイルス	0	0	0	0
サイトメガロウイルス	0	0	0	0
パラインフルエンザウイルス				
1型	0	0	0	0
2型	0	0	0	0
3型	0	0	0	0
4型	1	0	0	0
解析中	0	0	0	0
未同定	0	0	0	0
分離総数/検体総数	16/41	22/52	18/56	13/42

抗原検出状況(仙台医療センター)

	第8週 2月22日～	第9週 2月29日～	第10週 3月7日～	第11週 3月14日～
インフルエンザウイルス	13/78	13/68	18/83	21/99
A型	9	8	8	12
B型	4	5	10	9
RSウイルス	0/5	0/9	1/11	1/13
ノロウイルス	0/9	3/11	1/11	2/12
ロタウイルス	0/8	0/11	3/10	1/12
アデノ(便中)	0/7	0/11	0/10	0/12
アデノ(呼吸器)	0/11	0/16	0/15	0/18
アデノ(眼科)	0/0	0/0	0/0	0/0
※溶連菌	1/5	1/11	2/8	1/9
水痘帯状疱疹	0/0	0/0	0/0	0/0
単純ヘルペス	0/1	0/0	0/0	0/0

今週のコメント:

①第8週まではインフルエンザウイルスA(H1)pdm型が多く分離されていましたが、第9週以降はB型(山形系統・ビクトリア系統)が多くなっています。

なお、これらの成績は主に以下の医療機関から定期的に送られてくる検体を解析したものです。

*永井小児科医院、庄司内科小児科医院、仙台医療センター

独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
臨床研究部ウイルスセンター 2016年3月23日